

## Quarterly Report

MS&amp;ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7  
TEL: 03-6202-5270(代表)  
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

**MS&AD**  
INSURANCE GROUP

2012年1月30日

2011年度第3四半期（10月～12月）のトピックスをご案内します。

### 1. 2011年9月中間期 決算概況について

当社は、2011年11月18日に平成23年9月中間期における決算発表を行いました。正味収入保険料は、1兆3,052億円と前期比0.4%の増収となりました。要因として、三井住友海上が2010年10月に実施した料率改定の効果が現れてきていることなどが挙げられます。一方、台風15号などの自然災害が発生したほか、株式相場の下落による有価証券評価損が発生したことなどから、中間純利益は減益となりました。

(単位：億円)

	平成22年9月 中間期	平成23年9月 中間期	比較増減	増減率(%)
正味収入保険料	13,005	13,052	46	0.4
経常利益	705	92	▲613	▲86.9
中間(当期)純利益	400	71	▲329	▲82.2

### 2. 2011年10～12月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況(単純合算)

\*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第3四半期は、主力の自動車保険や火災保険が引き続き好調であり、一般計で2.8%の増収となりました。

(金額単位：百万円)

種目名	第3四半期(10～12月)		年度累計(4～12月)	
	収入保険料	増収率(%)	収入保険料	増収率(%)
自動車	300,240	1.2%	897,509	1.2%
自賠責	73,690	15.6%	224,069	10.3%
火災	104,340	5.3%	299,643	5.4%
傷害	51,232	6.5%	158,332	4.5%
新種	65,602	▲6.2%	226,136	▲0.8%
海上	21,695	▲2.2%	76,000	0.3%
一般計	616,799	2.8%	1,881,690	2.9%

### 3. 主なニュースリリース(2011年10月～12月) ※カッコ内はニュースリリースの日付

#### (1) MS&ADホールディングス

##### ①グループ内の統合・再編

##### ○「三井住友海上あいおい生命」が発足(10月1日)

10月1日付で、MS&ADインシュアランスグループ傘下の三井住友海上きらめき生命とあいおい生命が合併し、新会社「三井住友海上あいおい生命保険株式会社」として新たにスタートしました。

## ②環境・社会貢献

### ○義援金の寄贈について（10月25日、12月14日）

当社は、新潟県・福島県豪雨災害、台風12号、タイ洪水、トルコ地震の被災者の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、4つの災害合計で、約2,100万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額、約4,200万円を寄贈しました。

### ○チャリティーカードで東日本大震災被災地の子どもたちを支援（11月8日）

MS&ADインシュアランスグループの社会貢献団体「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」と特定非営利活動法人 子供地球基金は、子どもたちの絵でチャリティーカードを作成・販売し、その販売収益金で東日本大震災被災地の子どもたちを支援しています。今年のカードの絵柄には、福島の子どもたちがアートワークショップ（心の傷を癒す目的で絵を描く活動）で描いた作品と、1992年に最初のクリスマスカードを作成したチェルノブイリ近くに住む女の子の作品を使用しました。

## ③その他

### ○グループタグライン「立ちどまらない保険。」を導入（10月5日）

当社は、10月より、グループのタグラインとして「立ちどまらない保険。」を導入しました。新たなタグライン「立ちどまらない保険。」には、「企業変革への挑戦」、「新しい保険への挑戦」、「世界への挑戦」など、当社グループが常に果敢なチャレンジャーであり続けたいという決意が込められています。また、タグラインをテーマとしたテレビCMを制作し、全国で放映しました。

### ○第15回Asia Insurance Industry Award

#### 「アジアで最も顕著な活躍をした損害保険会社

#### 「General Insurance Company of the Year」を受賞（11月7日）

当社は、10月に発表された第15回Asia Insurance Industry Awardにおいて、「2010年度アジア保険市場で最も顕著な活躍をした損害保険会社」に与えられる「General Insurance Company of the Year」を受賞しました。今回の受賞は、MS&ADインシュアランスグループの発足や、マレーシア・ホンレオングループとの戦略提携などによってアジア地域において確固たる地位を築いたこと、ラオス現地法人の営業開始に伴い東南アジアの全ての国に拠点を有する唯一の外国損保会社となったことなどが評価されたものです。

### ○変額年金保険の再保険会社設立について（11月29日）

当社は、三井住友海上プライマリー生命保険株式会社が販売する変額年金保険の再保険を引き受ける会社をグループ内に設立し、2012年1月から業務を開始しました。三井住友海上プライマリー生命では、この再保険会社設立によって、変額年金保険の運用リスクなどを適切にコントロールすることができるようになり、安定的な商品提供や新しい魅力ある商品を開発する体制が強化されました。

## (2) グループ各社

### ①国内事業

### ○総合賠償新商品「ビジネスプロテクター」の販売開始について（10月6日）

三井住友海上は、中堅中小企業向け総合賠償新商品「ビジネスプロテクター」の販売を10月12日（12月1日以降保険始期契約）から開始しました。対象は売上高50億円以下の中堅中小企業で、「製造業・販売業・飲食業」向けと「建設業」向けの2つのタイプがあります。本商品は、企業を取り巻く賠償リスクを1つの保険で、わかりやすく包括的に補償し、補償内容も従来商品に比べて大幅に拡大しました。

### ○～Windows7 搭載～タブレット端末を利用した契約手続きを開始（10月11日）

三井住友海上は、自動車保険と火災保険の契約手続きをタブレット端末上で完結できる新しいシステムを開発し、11月上旬より使用を開始しました。新しいシステムは、契約の完全ペーパーレス化を実現するとともにオフラインでも手続き可能な機能を有しており、通信環境を問わず契約手続きができます。

### ○スマートフォン版「GPS-i 位置情報通知システム」等のサービス提供開始（10月12日）

あいおいニッセイ同和損保は、自動車保険を契約されたお客さまを対象とする「GPS-i 位置情報通知システム」、「聴覚障がい者のお客さま向けWebロードサービスシステム」を、10月3日からスマートフォンでも対応できるようにしました。「iPhone」、「Android 端末」双方のスマートフォンから利用することができます。

### ○「AR」を活用した「自動車保険の商品プロモーション」をリリース（10月13日）

あいおいニッセイ同和損保は、「タフ・クルマの保険」の商品魅力をよりわかりやすくお客さまにお伝えできるよう、「AR」（※）を活用した商品プロモーション用のアプリを開発し、10月1日にリリースしました。

※パンフレット等に掲載されている特定の対象物をスマートフォンで撮影することで動画が再生され、お客さまに新たな情報を付加・提示することが出来る技術

### ○被災設備修復サービスの提供を開始（10月20日）

三井住友海上は、世界トップクラスの災害復旧専門グループの日本法人であるリカバリープロ株式会社と業務委託契約を締結し、2011年10月からプロパティ・マスター（企業財産包括保険）に緊急処置費用補償特約をセットしたお客さまへ、被災設備修復サービスの提供を開始しました。アジア11カ国では、既に2011年1月から災害復旧サービスを展開しており、本提携により日本国内外を問わず、世界トップクラスの高品質な被災設備修復サービスを提供することが可能となりました。

### ○事業所向け賠償責任保険商品の拡充（10月28日）

あいおいニッセイ同和損保では、中小事業所に対し、お客さまニーズに応じたより手厚い補償を提供するため、雇用慣行賠償責任保険（EPL保険）定型プランの販売を開始しました。本商品は、セクハラ、差別、不当解雇等に起因し、従業員等から損害賠償請求がなされたことにより企業や役員が被る損害を補償するものです。

### ○中堅・大企業向け火災保険提案支援システムを開発（11月2日）

三井住友海上は、中堅・大企業向けの包括補償型火災保険商品である「プロパティ・マスター（企業財産包括保険）」の提案支援システム「プロパティ・マスターNavi」を開発し、使用を開始しました。このシステムは、保険料の計算を機械化したほか、複数パターンの見積書や申込書の作成をスピーディーに行う機能も有しているため、迅速な契約手続きが可能になりました。

### ○自動車保険とバイク保険が顧客満足度調査で1位になりました（12月1日）

三井ダイレクト損保は、リサーチ会社であるマイボイスコム（株）に調査を依頼・実施した2011年度自動車保険の顧客満足度調査、また、同じくオリコンDD（株）による2012年度自動車保険の顧客満足度調査（30代および40代の年齢別ランキング）およびバイク保険の顧客満足度調査で1位となりました。

### ○タブレット端末で全商品パンフレットをペーパーレス化（12月14日）

三井住友海上は、12月中旬より、全保険商品を対象にタブレット端末を活用したパンフレットのペーパーレス化を開始しました。今回導入したタブレット端末には、専用アプリ「モバイルパンフ」を搭載しており、約300種類の商品パンフレットとチラシ、動画による説明ツールを取り込んでいます。「モバイルパンフ」の導入により、これまで以上にスピーディーで快適な商品の説明や提案が可能になるほか、代理店の利便性向上やビジネスチャンスの拡大も見込まれます。

### ○カスタマーセンター専用ビルを新築・移転（12月14日）

あいおいニッセイ同和損保は、カスタマーセンター専用のビルを東京都板橋区に新築し、従来の練馬区光が丘カスタマーセンターから移転、2012年1月より業務を開始しました。新カスタマーセンターは、災害対策拠点を想定したBCP対策・最高水準の環境性能・快適な職場環境の3つのコンセプトから設計された高品質の専用拠点です。

### ○ご契約者さまの各種異動手続き時の「請求書」に関する新サービスについて（12月15日）

三井住友海上プライマリー生命は、お客さまのご契約に関する各種異動手続き時の「請求書」について、お客さま一人ひとりのご要望に合わせた「オーダーメイド帳票」を提供するサービスを2012年春に導入する予定です。「オーダーメイド帳票」の導入により、お客さまの請求に必要な情報欄（パーツ）のみを個別に印刷することが可能になるため、手続きがより簡潔になります。

### ○変額個人年金保険『L Gシリーズ』のリニューアルについて（12月29日）

三井住友海上プライマリー生命は、従来より販売している変額個人年金保険『L Gシリーズ（変額個人年金保険（08）および加算年金1年更新特則付保証金額付特別勘定終身年金特約付変額個人年金保険（2005））』をリニューアルし、2012年1月4日より販売を開始しました。加入年齢を引き下げ、より早くから契約が可能となったほか、効果的な運用をめざし、特別勘定の配分割合を変更しました。

## ②リスク関連事業

### ○企業向け国際生物多様性セミナーを開催（11月8日）

インターリスク総研は、12月7日に、三井住友海上とバードライフ・インターナショナルと共同で「海外におけるビジネスと生物多様性～COP11の舞台 インドを例に企業リスクマネジメントを考える～」と題したセミナーを開催しました。本セミナーでは、2012年10月にインドで開催される生物多様性条約第11回締約国会議（COP11）に向けて、海外事業活動に関する生物多様性への理解を深めてもらうことを目的としており、COP11のホスト団体であるボンベイ自然史協会のアサド・ラマーニ氏にも講演いただきました。

### ○国内初、日本の全上場企業の「組織力実態調査」を実施（11月9日）

インターリスク総研は、国内全上場企業3,219社に対し、「組織力向上（組織開発）に関わる導入実態調査」を実施し、回答状況をまとめました。今回の調査では、自社の組織力（パフォーマンス）を「総じて低い」と回答する企業が過半数を超え、多くの企業が組織力向上の取組みに何らかの課題を抱えていることが判明しました。

### ○～コンサルティング会社初～「ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）」のパイロット審査を受審します（12月20日）

インターリスク総研は、2012年11月に発行される新たな国際規格「ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）」のパイロット審査受審に向けた取組みを開始しました。インターリスク総研が自ら審査を受けることで、自社の交通安全の推進のみならず、「ISO39001」の認証取得に向けたノウハウを蓄積し、交通事故防止に資するコンサルティングメニューの開発に役立てていきます。

## ③環境・社会貢献活動・スポーツ

### ○～震災復興支援について考える～第13回市民環境講座を開催（10月12日）

三井住友海上は、東日本大震災の復興支援に関心をお持ちの方を対象に、第13回市民環境講座を開催しました。今回は、被災地を多数取材しておられる毎日新聞社社会部の竹内 良和さんに「都民ができる震災復興支援」と題して講演いただきました。

### ○東北名産品「全国どこでもマルシェパック」の展開について（10月19日）

三井住友海上は、東日本大震災の復興支援を目的に、東北被災地の名産品をパッケージ化した「全国どこでもマルシェパック」を企画し、9月中旬より全国の部支店へ展開しています。受付開始から12月末までに約165万円の申し込みがあり、今後も期限を定めず活動を継続していきます。

## ○創業1周年！「感謝の月」地域貢献活動を全国で実施（10月19日）

あいおいニッセイ同和損保は、10～11月を『感謝の月（地域の皆さまおかげさまで！）』として、地域社会への貢献活動を全国各地にて実施しました。地元町内会連合会との連携や新聞社とのタイアップなど、各地域それぞれで工夫を凝らした取り組みとなりました。

## ○インドネシアでの「熱帯林再生プロジェクト」第二段階がスタート（11月8日）

三井住友海上は、2005年に開始したインドネシア共和国における熱帯林再生プロジェクトの第2段階を2011年4月よりスタートさせ、10月12日に現地（ジャワ島ジョグジャカルタ特別州）で記念式典を開催しました。プロジェクトの第1段階である植林は3月に終了しましたが、再生した森林を永続的に保護するために、第2段階として地元経済への貢献に重点を置いて活動しています。

## ○三井住友海上福祉財団

### 2011年度「研究助成」および「三井住友海上福祉財団賞」を決定（11月8日）

三井住友海上福祉財団は、2011年度の研究助成として34件を決定し、11月15日に助成金贈呈式を開催しました。また、優れた著作・論文に対し贈呈する「三井住友海上福祉財団賞」として著作1点および論文2点も同日表彰しました。さらに海外（シンガポール、タイ）における研究助成では8件に対して助成を決定し、「三井住友海上福祉財団賞」の著作・論文3点も含めると、今年度は応募総数212件中合計45件、総額3,748万円の助成となりました。

## ○ベルマークポイントの追加付与がスタート！（12月26日）

あいおいニッセイ同和損保は、社会貢献活動の一環として2012年1月より、Web約款を選択いただいたお客さまにベルマークポイントを10点追加付与する取り組みを始めました。今後も行動指針の1つである「地域密着」の実践に向け、地域に根ざした社会貢献活動をますます強化し、全社一丸となって取り組んでまいります。

## ○女子柔道部

・「グランプリ・アブダビ」（10月16日）

UAE・アブダビで開催された「2011グランプリ・アブダビ」に三井住友海上から山岸絵美選手（48kg級）が日本代表として出場し、優勝しました。

・「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」（11月12日～13日）

千葉ポートアリーナで開催された「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」に三井住友海上から4名の選手が出場し、上野巴恵選手（70kg級）が準優勝しました。

・「グランドスラム東京」（12月9日～11日）

東京体育館で開催された「2011グランドスラム東京」に三井住友海上から3名の選手が日本代表として出場し、上野巴恵選手（70kg級）が優勝、上野順恵選手（63kg級）が準優勝しました。

## ④その他

### ○「GK」新テレビCMを放映（10月12日、20日）

三井住友海上は、長期自動車保険「ニューロング」のテレビCMを全国で放映しました。第1弾「ナイスディフェンス篇」では、三井住友海上がサポーターカンパニーとして応援しているなでしこジャパンをモチーフとしたサッカーの試合で「長～いやつ」ゾウさんが大活躍しました。また、第2弾「GK スーパーサブ篇」では、新たな頼もしい「長～いやつ」キリンさんがスーパーサブとして登場しました。

以上